第20号
2016年4月

季刊 えこびと

エコットフェスタ 2015 の様子

特 集 eco-T　10 周年に向けて　／　キッズタウン始動！

エコなかま　　エコット劇団めぐり座
　　エコットガーデニングクラブ
写真で見る活動トピックス（2016 年１月～３月）
活動レポート
読んで得するエコネタ
エコびと紹介　　河合志郎さん
事務局便り

Ｐ＆Ｐ特選句　１月　恙なく祝ふ雑煮の海老踊る（美代子）
　　２月　野焼き終へ星空少し汚しけり（智）
　　３月　暖かや丸太輪切りの駅の椅子（智）

このミニ冊子は持続可能で豊かな地域社会（エコライフとよた）の実現を目指す
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトが発行しています。

特　集

●レポート１――――――――――――――――――――>

eco-T 10 周年に向けて プロジェクトキックオフ

<――――――――――――――――――――――――――――――

来年は eco-T 開館 10 周年となります。節目となる年を盛り上げ、さらにステップアップしようと、インタープリターにアイデアをアンケートし、「10 年目・10 周年企画会議」を昨年の 10 月８日に、立ち上げました。第１回企画会議では、来館者にも意見を聞きたいとアンケートを実施しました。11 月の一カ月間アンケート用紙を配布し 117 枚回収しましたが来館者には 10 周年の行事にはピンとこなかったのか反応は…。

インタープリターには、自分事として捉えてほしいと思い、３回の企画会議やバス研修の行き帰りでの話し合いを含めのべ 78 人がかかわり、193 件のアイデアの種があがり、20 件の企画にまとまりました。さらに 12 件の企画に再編し事務局発案を加え 10 周年プロジェクト企画案として事業計画説明会でインタープリターに披露、携わりたい企画に手をあげてもらいました。

メンバーの多い企画を紹介します。

●夜のクリーンセンター見学ツアー
夜も休まず働いているクリーンセンターの見学を通してエコについて考える。
●新環境紙しばい
ごみや温暖化に特化したオリジナル紙芝居の製作。出前授業などで読み聞かせする。
●花いっぱい運動
エコットの入口や展示室、クリーンセンターの通路などを鉢花で花いっぱいにしよう。
●クリーンセンターの見学通路に絵画の展示
小学校などに環境に関する絵画を募集し展示。見学者は絵画から新しい学びを得ることができる。
●調理室の展示を見直そう
開館間もなくクッキングの様子を掲示しました。その後更新がされてなく…リニューアルしよう。

複数の事業に携わりたい人もいて、参加したい○は 96 個もありました。実現に向けて１年かけて話し合いを重ねていきたいと思います。

（坂本竜児）

●レポート２――――――――――――――――――――>

エコットキッズタウン始動！

<――――――――――――――――――――――――――――――

今年も子どもたちに会える４日間(８月１～４日)が楽しみです。

「子どもがつくる子どものまち」を豊田の子どもにも体験してほしい、そんな願いを込めて 2009 年の夏、市内初のキッズタウンを eco-T で開催しました。引っ越してきた時のように、役場で住民登録をして、仕事に就き、まちの通貨で給料をもらい、商店街で買い物をする。お金を貯めて店を開き、手作りや工夫した品物を売ることもできるまち。「これは絶対楽しい！」と思いつつも、最初は１日 50 人来てくれるか不安でしたが、昨年は１日あたり平均 150 人来てくれました。毎年、半年前からインタープリターが力を合わせて実行委員会を重ね、夏の開催を目指します。

今年は８回目、フェスタ、フォーラムと並び、eco-T の 3 大イベントとなり、市内で同じようなイベントが増えてきたこともあり、これまで以上に環境学習施設らしさが求められます。

今年は通貨「りん」のデザインを変える予定で、チラシやパスポート作りにも手分けして作業を進めています。

一緒に関わってくれる子ども実行委員会が、５月８日から始まります（ケーブルテレビひまわり取材予定)。まちを楽しむことに加え、準備の裏方、働く場所のリーダーなど、いろんな形で力を発揮してくれます。

子どもたちが保護者から離れて数時間を過ごす体験が自立への応援になればと願っています。

「成果主義で効率優先、無駄を省く」とは反対で、子どもたちが何かを探して動き回るのことを広く大きく受け止めるキッズタウンでありたいと思います　　（長嶋一枝）

エコットキッズタウン 2016 開催日時
日程：８月１日（月）～８月４日（金）
時間：12：30～16：00

＊８月１日（月）はエコット臨時開館します。

<――――――――――●エコなかま①
エコット劇団めぐり座
――――――――――――――――――――――>

エコット劇団めぐり座は寸劇を通して地域の人たちに環境について学んでもらう事を目的に団員 11 名で活動しています。

めぐり座は団員ひとりひとりが得意とするものを持ち寄り１つのストーリーを作りあげ、地域で公演することによって身近な環境問題に関心をもってもらう様がんばっています。

親子サークルからの依頼も多くなり、孫と一緒に遊んでいる様な気分で楽しんでいます。また、お母さん達には少しでもエコについて学んでもらおうと内容を工夫しています。エコットマンも大好評ですよ！

今後は団員を増やし活動の輪を広げていきたいと思いますのでみなさんの入団を待っています。

（佐々木さん＆タネちゃん）

<――――――――――●エコなかま②
エコットガーデニングクラブ
――――――――――――――――――――――>

ガーデニングクラブは緑いっぱいのエコットを作り、さらに緑のカーテンを広めていきたいと活動しているワーキンググループです。

緑のカーテンの普及に向けて、毎年エコットフェスタでは、メンバーが種から育てた苗を希望者に配布し、ご家庭で緑のカーテン作りに挑戦して頂いております。昨年は 877 本を希望者に配布しました。
緑のカーテンは、夏の強い日ざしを遮り、気温を下げ、緑のカーテンの間を通った風は気温より涼しく感じ『自然のエアコン』として節電効果もあります。

エコット入口のプランターにみんなで植えたパッションフルーツが今年の夏には緑のトンネルとなって来館者を迎える予定です。24 名の会員が日々手入れし、街にも緑のカーテンが増え、一緒に活動してくれる仲間も増えるといいな～と願っています。今年もエコットフェスタで苗を配布できるよう、会員一同、楽しく活動しています。

（たがみくん＆よーこねーちゃん）

写真で見る活動トピックス

2016 年 1 月～3 月

●雪の渡刈クリーンセンター駐車場（1/20）

積雪約 4cm。ごみ収集車は出動を遅らせました。

●こちパト２撮影！（1/22）
買い物から後片付けまで!エコ料理にチャレンジ

スーパーで買い物して eco-T へ。賑やかな撮影でした。

●愛環ぶらっとウォーキング（豊田コース）（1/23）

あいにくの天気の中、300 名以上が展望を楽しみました。

●トヨタの森でエコキッズスペース（1/27）

森遊びをしてお芋を食べました。

●レールパーク開催（2～3 月の土日祝）

いただいたプラレール®を活用！寄付歓迎です。

●新東名つながる！豊田東⇔浜松いなさ JCT(2/13)

開通目指してたくさんの車が並びました。

●京エコセンで木育キャラバン、設営体験（2/26）

eco-T も木育活動を本格化。キャラバンは 7/2,3 開催。

●正面吹き抜けガラスの清掃終了（3/7）

８年分の積ったホコリを清掃。右に 90°まわして見てね。

●レポート１

子育て中のエコライフを発信！ hibico の記者育成講座を実施しました

2012年６月に立ちあげた豊田市民の子育て中のエコライフを発信するホームページ「hibico（ひびこ）」。この季刊誌でも何度か紹介しましたが、豊田市役所の委託事業としては終了し、昨年度からエコ人プロジェクトの自主事業として月１回更新しています。記者を増やし取材の質を高めようと現在の活動中の記者が学び直すこと、新しく記者として活動したい方がインタビューや写真撮影の基本を学ぶこと、これらを記者育成講座にして１～２月に３回連続の講座を実施しました。既存と新規で８人が受講しました。。

第 1 回目は、hibico の記者ハンドブックを使って活動内容を説明し、参加者同士インタビューして他己紹介をつくる体験をしました。

２回目は、フリーライターの杉江さおりさんに話を聞くコツ、文章を書くコツを教えてもらい、受講生の他己紹介文章を読んでもらい、上手に表現できていることや十分に聞けてないポイントなど「ツッコミ」を入れてもらいました。

3 回目は、フリーカメラマンの久野ゆかさんに、写真を撮る時の心構えや構図、光の使い方を教えてもらい、実際に自分で撮影してアドバイスをいただきました。

ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー

エコや人との出会いに関心を持ち、活動意欲の高い記者として活動をスタートすることになりました。記者が増えた分、更新頻度も増やしたいと思っています。事務局の課題は、記事校正やアップの時間と活動経費の捻出です。

hibico の更新をお楽しみに！　　（坂本竜児）

●レポート２

マイカーから公共交通や徒歩・自転車へ とよたエコ交通アドバイス活動を実施しました

東京、大阪、福岡と並ぶ大都市、愛知県。他の地域に比べて自家用車の利用が多く、移動からでる CO_2 排出量が多いと言われています。

豊田市は、交通事故防止とエコドライブを広げるために「スロー（Slow）」「スマート（Smart）」「ストップ（Stop）」の３つの「S」をとった『とよた３S ドライブ』の普及活動や企業単位でエコ通勤に取り組む「豊田エコ交通をすすめる会」などの活動が進められています。

各主体が進めている低炭素な交通を横断的に連携して「とよたエコ交通アドバイス活動」を平成 27 年度に実施しました。事業や成果の概要をまとめます。

＜組織体制＞
実施主体：とよたエコモビアドバイス活動コンソーシアム
幹事団体：一般社団法人環境創造研究センター
構成団体：愛知県地球温暖化防止活動推進センター、NPO 法人とよたエコ人プロジェクト、eco-T インタープリター有志、豊田都市交通研究所（エコ交通を進める会事務局）、豊田市役所（環境政策課、交通政策課）、豊田商工会議所青年部

＜事業内容＞
①エコ交通アドバイスの手法の開発
②エコ交通アドバイザーの育成とアドバイス活動
③エコ交通にトライ！（アドバイスを受けた人）
④取り組みの評価

＜結果＞
・エコ交通アドバイザーの育成　参加者 29 人
・エコ交通アドバイス活動
　参加者 132 人、アンケート提出 114 人

＜結果＞
・移動回数は通勤通学が多く 35%、次いで買い物が 29%
・エコ交通のアドバイスを受けて、徒歩・自転車等のエコ交通に取り組もうと思った人が 39%
・実際にエコ交通に取り組んだかの結果アンケートは、変化なしが 51%、エコドライブに取り組んだが 42%
・１週間の取り組みで平均一人 4.6 kgの CO_2 削減になった。定着率を５割と想定して年間に換算すると 14.2t の削減効果を見込むことができる。

詳しくはエコ人プロジェクト HP に掲載。

（坂本竜児）

読んで得するエコねた

インプリバス研修「エフピコ」「石塚ガラス」

３月７日（月）に、インタープリター（以下、インプリ）向けバス研修に参加された木本貢二さんと井上祐子さんに、今回見学したリサイクルに力を入れている企業、（株）エフピコと石塚ガラス（株）を見学した感想とエコ人プロジェクトの活動についてお話を聞きました。

工場見学の前にレクチャーを受ける

本田：エフピコの食品トレー生産工場とトレーリサイクル工程を見学した感想をお聞かせください。

井上さん：トレーやペットボトルをリサイクルするために、エネルギーや人手が掛かることは聞いていたが、実際に見学してみると、電気や水、洗剤などをたくさん使ってリサイクルしていることが分かって勉強になりました。

木本さん：エフピコのプラスチック製容器包装のリサイクルは、透明、印刷の張り合わせなど、分類して処理を分けているが、豊田市は分けて集めていないため、プラスチック製容器包装が 100%集められたものがリサイクルされているか知りたい。燃料として燃やされている？※

井上さん：白色のトレーより需要の多い印刷されたトレーは、リサイクル時に剥がす工程が増えて手間がかかることを知りました。

本田：今回の見学で得たことをインプリとして、どのように市民に伝えたいですか。

井上さん：今までは聞いたことを伝えていましたが、実際にリサイクルしている工場を見たことで、伝えられることが深まったと思います。

木本さん：渡刈クリーンセンターの見学をする前のレクチャーの中に、大リサイクル社会の説明がありますが、今回の見学を活かした説明ができると思います。

エフピコの工場の前に積まれた大量のプラスチック山

本田：石塚ガラスを見学した感想を。

木本さん：ガラス製品は、割れていると、扱うのが危険というのが理由で埋めるごみに回っているが工夫すればリサイクルできると思う。

びんは３Ｒの優等生。軽量化は資源のリデュースにあたる。

本田：エコ人の活動についてご意見がありましたらお聞かせ下さい。

木本さん：エコ人の活動内容がよく理解できていない人が多いと思います。もっとインプリや市民にエコ人の活動をＰＲする場をつくれば、会員数も増えるのではないでしょうか。

井上さん

木本さん

インプリバス研修には、多くのインプリが参加しました。エコットでの来館者対応や５月からスタートする小学校４年生の渡刈クリーンセンターの見学、くらしの環境学習推進校の出前授業などに今回の研修が大いに活かせると思います。（本田）

※事務局注釈
豊田市が回収しているプラスチック製容器包装はリサイクル事業者に引き渡され、再生樹脂やパレット等の材料としてリサイクルされています。（平成 26 年度実績）

エコットインタープリター　河合（かわい） 志郎（ゆきお）さん

ユッキーこと河合です。エコットでは現在エコばたワーキンググループとして、エコばた掲示板の運営、管理をやっています。
私は定年後、たまたま豊田市環境政策課主催の環境学習リーダー養成講座を受講し、地球温暖化問題の深刻さを知り、環境学習ボランティアの道を志す事になりました。H18 年に省エネ普及指導員、エコライフ倶楽部省エネ共和国に参加、H21 年から愛知県地球温暖化防止活動推進員を、そしてエコットには創立１年前から参加しています。
こうしたいくつかの活動で常に思っていたことは、市民のみなさんにいかにして環境問題を伝え、共有化し、省エネ行動につなげられるかと言うことで、２つのことを考え提案し、関係者の協力を得て実施してきました。
ひとつは、省エネ共和国の会員のみなさんなどから提案いただいた省エネ項目に、経済産業省のパンフレットなどからの省エネ項目をまとめ、市民のみなさんにわかりやすい省エネ行動リストをつくりました。これは、のちに市の CO_2削減行動リストとして現在につながっています。
もうひとつは、国の機関やいろいろな部署、人が持っている環境情報を、効率的にみなさんと共有し、タイムリーに市民のみなさんに広げることができないかということで、エコばたを考えました。
エコばたとは、環境に関する井戸端会議をイメージして付けたもので、次の３部構成で始めましたがいろいろ問題があって、今はエコばた掲示板だけになっています。

1．エコばた会議…その時々の環境情報を気軽に交換できる場を設定。〔中止〕
2．エコばたリスト…エコばた会議などで集まった情報をまとめ市民に伝達するもの。〔中止〕
3．エコばた掲示板…掲示板という媒体を使い環境情報の交換と、来館者への情報提供をする。

エコット１階の展示室に設置。６年が経過し、今まで約 360 件の情報を展示しました。アンケートでは「見ているよ、役に立っているよ」など意見をいただきましたが、書き込み者は年に３～４名で本来意図している姿にはなっていない状況にあります。この為、書き方などの工夫や身近な暮らしの話題も入れるようにしています。

今、直面する大きな環境問題は、地球温暖化だと思っています。政府は CO_2を 2030 年までに 26%削減、2050 年までには 80%の削減を掲げています。目標達成のため、一般家庭は今後 CO_2排出を 40%削減する必要があるそうです。
私は、環境ボランティアを始めてから、ガソリン使用量は１５％削減、電気使用量を 35%削減しました。（これは同様家庭の電気使用量の 56%くらいに匹敵。）
地球温暖化も、ごみ問題も解決のためには、市民のみなさん一人一人が問題を理解し、省エネを意識して、実践することが大事。それを手助けする環境学習ボランティアは常日頃から、いろいろな最新情報を持っていないといけないと思います。この為にエコばたは、重要と思っています。引き続き頑張りますので、みなさんの積極的参加を期待しています。

新しいスタッフが入りました。

■住田雄佑（4/1 入社）

大学では、タイでボランティアをしたり、国際協力の学生団体の代表をしたりしていました。ESD に関連した仕事をしたいと思い、eco-T にたどり着きました。徳島県出身の新卒で、愛知県のことも仕事のことも分からないことばかりですが、一生懸命がんばりますのでよろしくお願いします。

■笠井和男（4/19 入社）

エコットで働き始めてから日常生活の中でも環境について考えることが多くなりました。「気づきから行動へ」をまずはスタッフとして実践し、市民のみなさまにもエコの意識を広げていきたいと思っています。環境について日々勉強し、社会貢献できるよう頑張ります。

住田雄佑　　笠井和男

第8回平成 27 年度総会のお知らせ
2016 年 7 月 23 日(土)午後
とよた市民活動センターで開催!

〔会費〕

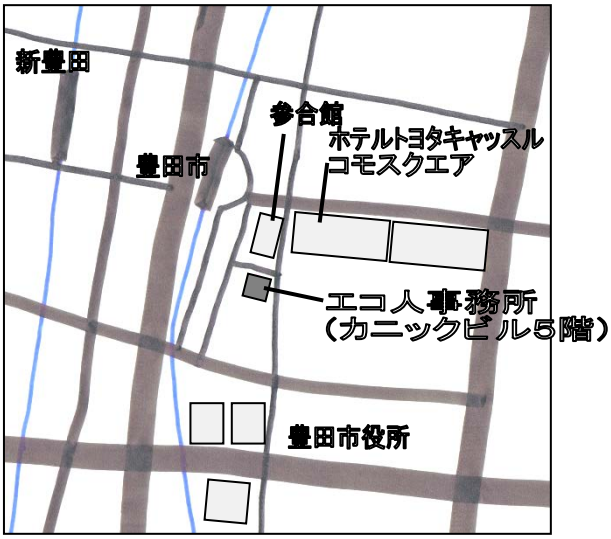
正会員	10,000 円（議決権あり）
賛助会員	一　般　1,000 円／口 学　生　500 円／口 非営利団体　3,000 円／口 営利団体　10,000 円／口

＊エコ人の年度は６月～５月です。

〔現在の会員数〕

正会員 21 人、賛助会員 47 人・３団体

〔エコ人プロジェクト事務所 MAP〕



編集後記

4 月に熊本・大分で大きな地震がありました。被害にあわれたみなさまにお見舞い申し上げます。熊本の友人が被災、避難しているさなか「地震対策は必ずして！」と連絡がありました。被害が最小限で済むように、改めて見直してください。６月４、５日のエコットフェスタでは、復興支援の募金活動を行います。ぜひ、足をお運びください。（坂本）

発行・編集　NPO 法人 とよたエコ人（びと）プロジェクト

〒471-0025　愛知県豊田市西町 1-88 カニックビル５階
TEL：0565-50-5684　FAX：0565-50-5568
メール：info@t-ecobito.jp
ホームページ：http://t-ecobito.jp/【新しくなりました！】

最新情報はホームページへ
とよたエコ人　検索